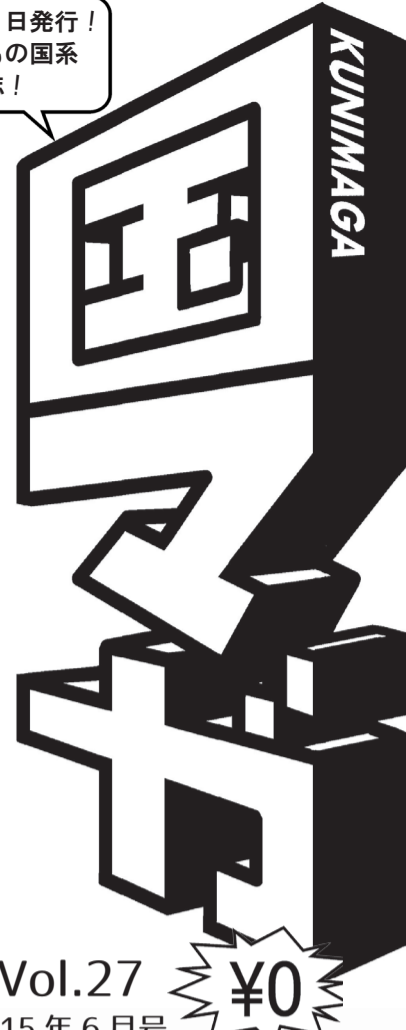


# 特集「わが町のフードコート“再”入門講座」

毎月5日発行!  
こどもの国系  
情報誌!



Vol.27  
2015年6月号

¥0

フードコートはバーリトウッドで愉しめる!

◆攻めの「ロッセリア」守りの「どん太鼓」多彩な「千里香」本格派「ドトルル」  
今回は、WAOこども国系にシヨッピングセンターにあるフードコート(正確には、フードスクエアというようです)に注目します。ここには4つの精鋭が連なっています。まずは、攻めたメニューでハンバーガー界の異端児となっている「ロッセリア」。そしてお隣は同ロッセリア系列で、奇抜さはないがシンプルな讃岐うどんが食べられる「どん太鼓」。つづいて、料理の写真を所狭しと貼った様子は、まさに中華料理の百科事典「千里香」。さいごは、シアトル系? サードウェーブ? なんすかそれ? 国内最多オレたちの「ドトルル」。

◆想像してごらん、フードコートに境なんて無いんだと  
フードコートの魅力はなにより店を横断してメニューを注文して、オリジナルのセットを作れちゃうこと。併設したスーパー三和も利用すれば、色んなものが食べられるのです。どんなチョイスが可能なの? われわれ『国マガ』連載陣が揃ってロケを敢行しました。

4コママンガのおぎぬまXは「どん太鼓」でご飯だけを注文し、そのうえで三和で買ったおかしをまぶし、駄菓子弁を作成。うーん、オーマイゴーンプ! 激安ジャンクで小学生も歓喜! 小説の安原まひろは、「どん太鼓」で注文したとろ玉うどんに三和で調達した大好きなめかぶをマシマシに。他のメンバーも趣向を凝らして楽しんでいました。

雨の多い6月、みなさまも屋内のフードコートでゆる〜く愉しむのも一興かもしれませんよ。

## ●おぎぬまX作「タラカツ極貧駄菓子弁」



「どん太鼓」でライス単品注文、「タラカツ」と「ビッグカツ」をまぶす。  
「どん太鼓」でライス単品注文、「タラカツ」と「ビッグカツ」をまぶす。

## ●安原まひろ作「ネバネバマシマシめかぶまぐろうどん」



三和の生鮮でめかぶをマシマシに、うどんにネバネバがたまらぬ。



### 初めてのバイト代はフードコートで

「シヨッピングモールのフードコートなんて、ファストフード店ばっかりで、どこも一緒でしょw」。

こう言われるとムツとした気分になり、あんな、普段どんなだけ変わったもんを食ってるんですか、と聞いてみたくなるが、冷静に考えると、「どこも一緒」と言いたくなる気持ちも分かる。

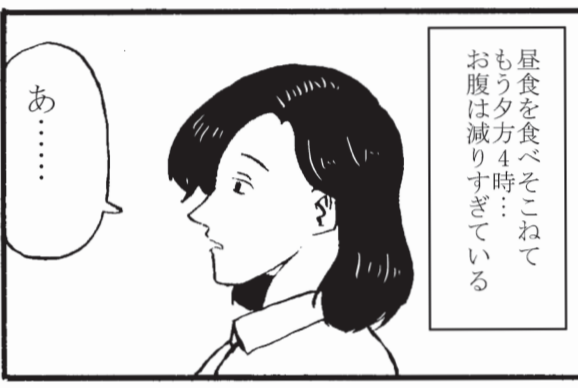
「ファスト風土」なんて言葉がある。これは、巨大企業のシヨッピングモールがあらゆる土地に建ち、結果、その地域の特色が失われ、どこも同じような風景となる現象を、ファストフードに象徴させ、モジツた造語だ。

たしかに、シヨッピングモールは、どこも似かよっている。

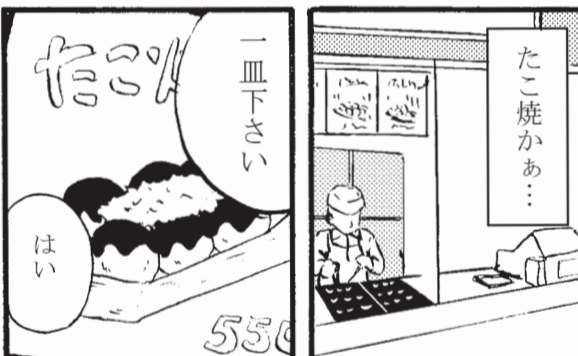
1978年の映画『ゾンビ』は、シヨッピングモールを舞台にしている。驚くべきは、時代も国も超え、この映画のなかの風景をどこかで見たように感じてしまうことだ。さらにそうやって『ゾンビ』を観ていくと、モール内を同じように動くゾンビは、「どこも一緒」なチェーン店に行ってしまう私たちの「個性の無さ」を皮肉っぽく映し出している気が付く。  
「やっぱり、フードコートなんてどこも一緒なんじゃんw」。



「...とにかくお腹が減っていた」  
ポイント5倍dayが目がくらんでわざわざ車で来たが、あまりのレジの混雑ぶりにすっかり気が滅入ってしまった



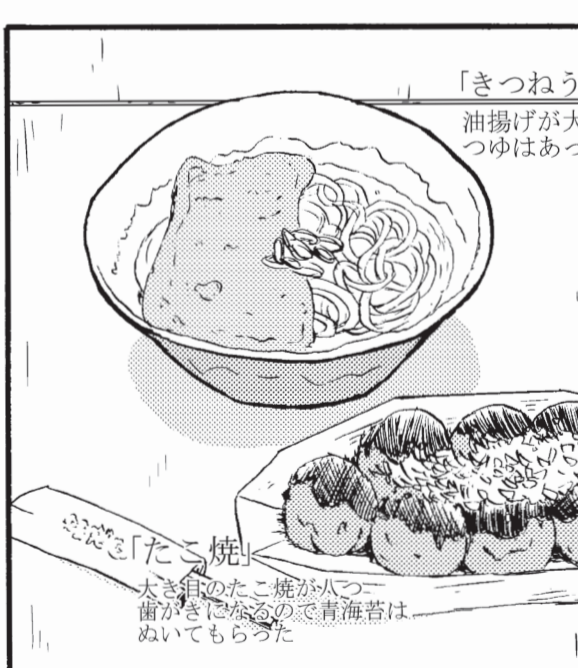
「あ...」  
昼食を食べそこねてもう夕方4時! お腹は減りすぎている



「たこ焼かあ...」  
一皿下さい  
はい



「うわあ...」  
「なんだか凄いいことになっちゃったわ」  
「うまいですかい」  
「はい」  
「うまかった...」



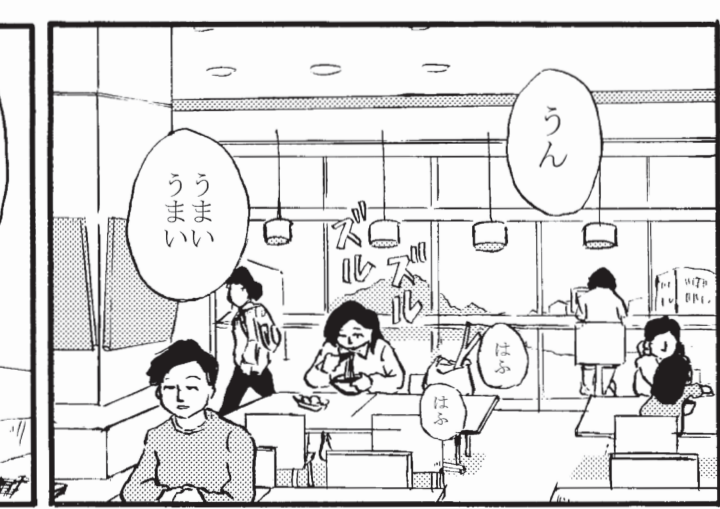
「きつねうどん」  
油揚げが大きいつゆはあっさり  
「たこ焼」  
大き目のたこ焼が入つて歯がきくなるので青海苔はぬいてもらった



「うん」  
「うまい」  
「うまい」



「うまかった...」  
「遠めのスーパーだと子供やご近所さんになんか姿を見られることもないからわざわざ車を出した方がいいがあったかもしれない」



「うん」  
「うまい」  
「うまい」



十何年前、スーパー三和に併設されるフードコートには、まだマクドナルドが入っていた。ここで私は人生初めてのバイト代を使った。そのころ、マックのテリヤキバーガーならいくらでも食べられると、思っていた。こどもの頃は親がひとつしか買ってくれなかったため、い

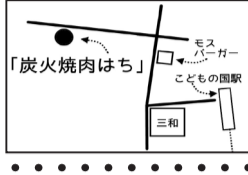
つも物足りない気持ちを抱えていた。しかし、今や自分で働いた金でここにある。誰にも文句は言わせない。  
さっそく、西部の酒場のジョン・ウエイン風にカウンターで「テリヤキ、三つ」と注文する。ほどなく手渡されたトレーに、テリヤキバーガーが完璧に等間隔で三つ並んでいたことが忘れられない。しかし、良い思い出もそこまで。さて食うぞ、と意気込んだものの、一個半で既に飽き、二個半で胸やけを覚え、やっとの思いで完食した。このとき「好きなものでもほどほどに」という教訓を得た。これは今も堅く守っている。以上は、どこにもあるフードコートの、私だけの思い出だ。  
このように、今日もどこかの姿替もないフードコートで、たくさんの特選エピソードが生まれているはずなのだ。個人的な料理は、みな似たような感想になりがちで、むしろ、無個性なものこそ、その人だけの人生観みだいなものが反映される余地があるってことがいえないだろうか。  
さっき言った『ゾンビ』を観ながら、「もし、ゾンビになったら何するか」と考える。うん、やっぱり、テリヤキバーガーを求めてフードコートへふらふらと向かっていくだろうな、オレは。



### 炭火焼肉はち



神奈川県横浜市青葉区奈良 5-16-21  
 TEL 045-961-2935 (駐車場1台)  
 営業時間 17~22時  
 定休日：火曜日(祝日の場合は営業)



◆夏、焼肉の季節！  
 暑くなり、夏本番が近づいてくると、無性に食べたくなるものってありますよね。おとなはビールと一緒に、こどもはごはんを片手に、みんな大好き焼肉！こどもの国駅から徒歩10分、奈良5丁目にある、町唯一の焼肉店「炭火焼肉はち」さんに伺いました。ご主人の木村直人さんが納得できる食材を使用し、お酒も種類豊富に揃えています。まず、入店して気づくのは全然お店の中が煙たなく、これは網の脇から煙を吸ってくれる設備のおかげ。服に臭いがつかないのは何気に嬉しいポイント。

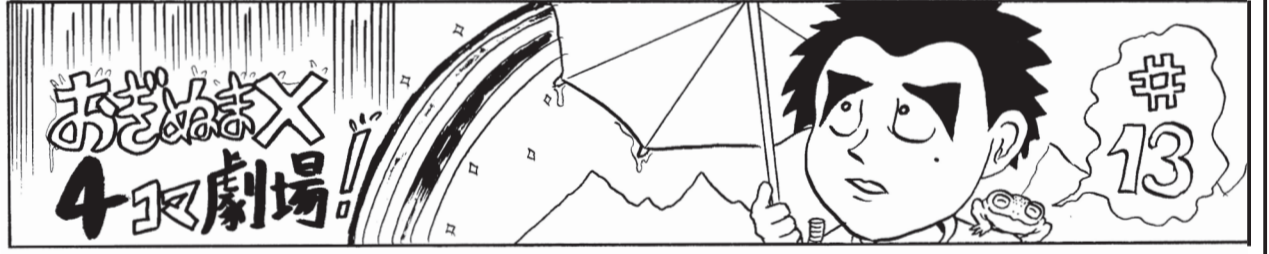
◆県唯一の「あわじビーフ」提供店  
 こちらのイチオシは「あわじビーフ」。その名のとおり淡路島の但馬牛(たじまぎゅう)です。独自ルートにより仕入れていて、なんと神奈川県で食べられるのはココだけ！この日は、カインミ・特上カルビ・上ロースと3種のお肉が味わえる「あわじセット(3980円)」を注文。運ばれてきたお肉の美しいこと！しっかりとサシが入った霜降り肉で別格な雰囲気です。あまり馴染みのないカインミとは、バラ肉の中でもヒレに近い、非常に希少な部位です。焼いて口に運ぶと、お肉、舌の上でトロける！脂は多いのですが、とっても上品でおいしいです。ロースはサシが少なめで赤身に旨味がギュッと詰まっています。カルビのサシは大体この中間くらいでしょうか、当然バツグンにウマイ！一緒に買った国マガスタッフは、青葉台の某高級焼肉店より安くおいしいと絶賛。サイドメニューもたくさんあって、中でも自家製のカクテキがオススメ。さあ、焼肉が食べたくなったらここに行こう！

◆味以外もいとお店  
 もともと国マガ愛読者だった店主の奥様、静子さんのリクエストにより国マガを置かせてもらい、はや半年ほど、ようやく食事に來ることができました。味に満足したのはもちろんのこと、スタッフの皆さんが明るく元気があり丁寧な接客で好印象でした。味以外でも満足させてくれるのは、いいお店の証ですね。



### 短編小説 二の母の記憶 安原マヒロ

フードコートには、ボーダーのポロシャツを着たそいつがすでに待っていた。  
 「君がケンセイくんだね」「君がショウヤくんか」  
 俺たちはお互いを確認する。ショウヤ、その名前はこの地域の小学校に響きわたっている。通っているO小学校ではすでに敵無し、中学生をも負かして、腹いせに蹴られたという伝説の持ち主だ。しかし、俺だって、N小学校最強の名を我が物にした男。しかも、俺のホームであるこのフードコートで、負けるわけにはいかない。  
 「それじゃあ始めようか」  
 ショウヤの声に、俺は黙って頷いた。最初はグー、じゃんけんぽん、先攻は俺だ。バトルスタート！ショウヤは罠カードを巧みに操る、トラップマスターショウヤと言われている。俺は先攻の有利を生かし、ショウヤが罠を準備する前に一気にカタをつける。攻撃力のあるモンスターたちを場に繰り出してターン終了！  
 「ケンセイくん、もしかして僕が未だにトラップ使いだと思ってるのかな」  
 ショウヤが自分のターンになった瞬間口を開いた。  
 「僕はもう罠カードには頼らない。このデッキの中には君の手薄な守備を破壊できる、強力な攻撃モンスターたちが入っているんだよ」なるほど、さすが噂に聞こえるショウヤだ。こちらの手の内はずでに読まれているということか。  
 「残念ながら俺の攻撃モンスターも、そちらに負けないくらい強力だよ」  
 「力と力のぶつかり合いになりそうだね」  
 おもしろくなってきた。この試合、高レベルな殴り合いになりそうだ。  
 その時、扉が開いた。「お、ケンセイ」。友人の亮が立っていた。俺の目が釘付けになる。その隣には、高島さんがいたからだ。  
 高島風菜。好きな女子の話をすれば、クラスの男子がまず口に出す。勉強ができて、ピアノが得意で、顔がかわいい。亮の隣の高島さんは、いつもより髪の毛を高い所で結んでいて、クラスで見ると雰囲気全然違った。  
 「こいつ、すげえカードゲーム強いんだよ」  
 「へえ、そうなんだ、がんばってね」  
 亮の説明に聴いて、高島さんは僕に笑いかけた。亮、そういえばこいつ、いつからフードコートのカードバトルに参加しなくなったんだっけ。  
 「そんじや、また明日学校で」  
 亮はそう言って、ハンバーガーコーナーに向かっていった。その手は、確かに高島さんと繋がっていた。  
 その後はどうなったのかよく憶えていないが、とにかくあっさりとした。なぜだか全然悔しなくなつたし、カードを片付ける時の攻撃モンスターたちは、バトル前に比べてずいぶん弱そうに見えた。



■国マガの感想アンケートからアクセス！

国マガ年鑑発売中！  
 ★2013~14年の『国マガ』の歩み『国マガ年鑑』！「COONIE」「GRIVE」「昭和書房」「スリーエフ・こどもの国」で販売中！

■奈良北地区  
 ・本・文具「昭和書房」  
 ・パン「Coonie」  
 ・とんかつ「かつ元」

■青葉台地区  
 ・パン「COPPET」  
 ・ラーメン「246亭」  
 ・接骨院「あつる鍼灸接骨院」  
 ・美容室「カットクラブKOGA」  
 ・BAR「Soul Cocktail's AOBADAI」

■山奈地区  
 ・不動産「太平プラン」

国マガを置いていただける店舗を随時募集中  
 お店を訪問して紹介お問い合わせは  
 誌面末部のメールアドレスまで！

国マガ配布店舗様

STAFF

加藤シュンスケ (代表) 会社員/イラストレーター (@kato\_two)  
 今年も国マガ一年間の活動をまとめた「国マガ年鑑」を作成しております。一部国マガ配布店にて販売予定です。購入いただいた方には特典として、おぎぬまXに似顔絵を描いてもらえるというのはダメですか？

サリー志村 編集者 (@shimamuramasari)  
 5月21日の『タウンニュース』の記事をご覧いただけましたでしょうか。昨年の『町田経済新聞』の記事同様、ドヤって語ってしまいました。本名も出てしまい、恥ずかしい限りです。

オオキ 長男 (@OhQute)  
 ご飯などの糖質を控えめにして、豆腐やヨーグルトをたくさん食べる生活にしたら、2ヶ月で体重4kg、体脂肪3%落ちました。運動せず、ストレスもなく痩せられるもんですね。ダイエット本でも書こうかな？

おぎぬまX 元芸人 (@oginuma\_x)  
 フードコートのテーブルは、いわば真っ白なキャンパス。その真っ白な正方形の中でラーメンを置こうが、コーヒーを置こうが、ハンバーガーを置こうが、全て自由ってワケ。情操教育にいかかでしょう？ ふふっ。

安原マヒロ ウェブ編集/ライター (@MahiOriHaM)  
 巻頭特集した「フードコート」とオオキの特集した「炭火焼肉はち」さんの取材、実は連続で行きました。よく食べた一日でした。ちなみに「炭火焼肉はち」のスタッフさん、美男美女ぞろいですよ。  
 ★誌面広告、スタッフへのお仕事の依頼も受付中！

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol. 27  
 発行日 2015年6月5日  
 編集人 加藤シュンスケ 安原マヒロ  
 連絡先 kunimaga920@gmail.com  
 ホームページにてバックナンバー配信！→ http://kunimaga.jimdo.com/

Facebook twitter  
 Twitter ID @kunimaga920